

安中基督教會沿革

明治七年十一月新島襄先生米國より御歸朝、直ちに我安中に歸り、或は藩の造士館に於て、或は寺堂に於て、基督の聖道を説かるゝこと三週日、此れ日本内地傳道の嚆矢なり、明治八年一月十日の聖日、湯淺治郎氏等四人の同志打寄て聖書の研究を始む、此れ安中に於ける聖日集會の發端なり、明治十年七月十日當時同志社の神學生たりし海老名喜三郎氏(今の彈正)來て傳道し、明治十一年三月三十日新島襄先生より洗禮を領する者三十名、茲に我安中基督教會を創立す、最初の牧師は海老名氏、次は杉田潮氏、其後武田猪平氏増野悅興氏相續て就任、

明治三十年八月柏木牧師赴任以て今日に至る、明治十九年十月九日原市以西の教會員男五十名女四十六名、我教會より分れて、別に原市教會を組織す、新島先生紀念會堂は大正七年八月廿六日基礎工事開始、八年八月禮拜堂工事竣成、附屬講堂確氷會堂、牧師館溫故亭まで成りしは九年七月にして、總工費は參萬參千餘圓、安中教會維持財團法人の成りしは大正十年十二月廿八日なり

安中教會憲法

第一章 教會の主意

凡そ天地の中誰か天父の恩恵を蒙らざる者あらんや世の人誰かイエス

キリストの救拯に由らずして神の國に入ることを得んや我儕幸に聖靈の啓導に由りて天父の鴻恩とキリストの仁恵に浴し罪を悔改めて主に歸し以て天國の嗣子たるを得たり乃ち茲にイエス、キリストの聖名に因りて教會を設け心を協せ天父を禮拜し意を竭してキリストに奉仕し相愛しみ相助けて潔き生活を爲し且つ神の國を擴め以て聖旨の天に成る如く地にも成さんことを期す希くば全能の主恒久に我儕と偕なり給はんことを

第二章 信仰の告白

我儕は天地の主にして人類の父なる神を信ず

我儕は人類を救はん爲に其生命を十字架上に捐て給ひし神の子イエス

キリストを信ず

我儕は新なる生命を與へ給ふ聖靈を信ず

我儕は聖書を以て我儕の救ひに必要なる天啓を有する經典なりと信ず

我儕は永遠の生命と正しき賞罰を信ず

我儕は洗禮及び聖餐を以て我儕の守る可き禮典なりと信ず

第三章 會員の誓約

我儕はイエス、キリストを教會の首と仰ぎ其教訓を遵奉し互に相顧み
相扶け以て其肢たるの實を完ふす可し

我儕は主の日を守り相集ふて天父を禮拜し信を進め徳を磨き各々分に
應じて主の工を努む可し

我儕は一夫一婦の倫を保ち家庭を潔め以て親子兄弟の道を盡す可し

我儕は博愛の心を養ひ患難相助け窮厄相憐れみ正義公道に由りて社會風教の改善を計る可し

我儕の中信仰を誤り道に背く者ある時は親切に忠告誘導し容易に其人を捨つ可らず

第四章 受洗の宣言

我儕は自己の罪を悔改めイエスを神の子キリストと尊信す

我儕は凡百の物に優りてキリストを愛し其聖意に協はさることは廢てんことを期す

我儕は教會の主意を遵奉し信仰の告白を會得し會員の誓約を重んじ教

會の規約を守り心を一にして相共に道の爲に盡さんことを期す

我儕はイエス、キリストに従ひて洗禮を受くる決心を有す

教會員の實行したき事を要約して一二を左に

一、聖日の禮拜と祈禱會とに出席すること若し禮拜に出席するを得

ざる時は教會員は其の何れに在るも其時間に教會の禮拜を憶ふて

暫時なりとも黙禱すること

一、互に相協力して傳道を勵むこと

一、各自信仰の量に従ひ分に應じて献金して教會の維持擴張に資す

ること